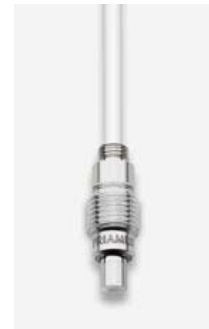


Type 6011BB

PRIASAFE™ 対応

小型型内圧センサ（先端φ2.5mm）

- 取り付け誤差を防止するハウジング付
- 全長 17.2mm の超小型
- キャビティ形状に合わせてセンサ先端部を研磨可能
- 全メーカーの水晶圧電式チャージアンプに接続可能
- 取り付け方法はねじ込み式
- ケーブル交換可能



概要

型内圧センサは非常に感度の高い測定機器であり、適切に取り付けられていない場合には、誤った測定結果を得る場合があります。考え得る要因のひとつは、いわゆる「力の分散」で、センサ先端部が金型壁に触れたときにセンサの感度損失が発生します。

型内圧センサ 6011BB は、この問題を防止するため、センサをハウジング内にセットした後に校正しています。センサがハウジングで「保護」されているため、金型に取り付ける際に感度が変わらないという利点があり、センサに内蔵されたハードウェアコードによりセンサ感度が自動的にアンプに設定されます。このため、使いやすく、安全であり、工業用センサとして適しています。

水晶圧電式測定技術は、特にこの分野に適していることもあって、年々その利用が定着してきました。射出成形用測定に求められる要件は非常にコンパクトかつ堅牢なセンサ設計によってのみ満たされます。ひずみゲージ式では、こうした要求を満たすことはできません。

技術データ

測定レンジ	bar	0 ... 2000
過負荷限界	bar	2500
感度 ¹⁾	pC/bar	- 2
溶融樹脂温度 ²⁾	°C	注釈 2)参照
金型温度 ³⁾	°C	200
直線性	%	< ± 1
固有振動数 ⁴⁾	kHz	> 80
絶縁抵抗値	Ω	> 10 ¹³ (20 °C)

¹⁾ センサの正確な感度は個別の校正表に記載されています。

²⁾ 熱可塑性の溶融樹脂は金型壁に接触すると瞬時に冷却されます。従って、最高溶融樹脂温度はセンサを用いた測定になんの影響も及ぼしません。なお、一般的な熱可塑性樹脂およびエラストマの完全溶融温度は通常 200°C 以下です。

³⁾ センサ本体は、これ以上の金型温度にも耐えうる構造になっておりますが、付属ケーブルの耐熱温度には制限があります。

⁴⁾ センサの固有振動数は実際の出力信号の周波数よりもはるかに高いです。

* 感度自動調整には PRIASED 対応のチャージアンプが必要です。

* PRIASED 対応外のチャージアンプ(他社製品を含む)に接続すれば通常の型内圧センサとして使用できます。

